

透析室を回診すると、便秘の訴えを頻繁に聞く。新規の便秘薬も登場し、治療選択は増えたものの、今なお治療に難渋することもあり、透析前の体重が普段よりも増えているとき、何日も便通がないので、除水量を減らしてほしいといわれることもある。透析患者は高齢者が多く、さらに野菜や果物の制限があり、食物繊維が十分とれていないこと、リン吸着薬やカリウム吸着薬などの薬剤の服用、運動不足など便秘をきたしやすい条件が多い。「便秘はありふれた症状で、生命予後にも大きな影響はなさそうだし」と考え、プロブレム・リストの上位にあげることは少なかったであろう。

近年、便秘に対する関心が高まるとともに、基礎・臨床研究が発展してきた。便秘の程度は、患者 QOL に関連するだけでなく、腎不全の進行、

心血管予後や生命予後にも関連することがわかってきた。機序として、腸内細菌叢の変化を介した炎症惹起、尿毒素産生増加なども考えられている。腸内細菌叢の重要性は、腸腎連関だけでなく、脳腸相関（連関）（brain-gut connection）、脳心血管相関（brain-cardiovascular connection）の視点からの研究も進んでいる。

本号は、便秘と慢性腎臓病・透析医療に関し、消化器専門医、腎臓・透析専門医、薬剤師、栄養士、臨床工学技士、理学療法士といった多職種の視点からの論文で構成されている。便秘の病態生理、治療・管理法に関する知見が示されており、臨床実践に活用していただくとともに、今後の研究につながることを期待している。

（小松 康宏）

2022 年 (Vol. 38) 特集のご案内

- No.① 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう
No.② 腎性貧血治療の課題と対策—HIF-PH 阻害薬, ESA, 鉄剤をめぐる
No.③ 多職種連携による透析医療

- No.④ 便秘と慢性腎臓病・透析医療
No. 5 透析療法における各種モニタリングの最前線
No. 6 CKD 診療における漢方と補完代替医療
(既刊は○)

臨牀透析® Vol.38 No.4

© 2022 年 4 月 10 日発行
定価：2,860 円
(本体 2,600 円 + 税 10%)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541